

これをあはれ?

あれ! 塔に秋田犬

片山のコンクリート会社のプラントに大きな秋田犬が2頭描かれています。これは、平成4年にプラントを新しくする際に社員の意見で、プラントをきりたんぼに見立て、その中に秋田犬をイメージしたもので、国道側に雄、その裏に雌(写真)が描かれています。「ほほ笑ましい」と近所のかたたちからも評判も良く、ときには県外ナンバーの車での見学者もあるとか。



ふるさと大館へ

大館ふるさと会からのたより⑦

常任幹事

齋藤 貞さん

豊な自然に包まれた伸びやかな環境、風土と伝統に支えられた文化と温かい人間関係など、地方色豊かな大館市で生まれました。郷土を離れてから三十五年ほどになりました。歳のせいでしょうか、若いころはあまり感じなかったことですが、最近では郷土の人々とのふれあいと食べ物がとても恋しく大館に帰る機会も年ごとに多くなりました。幼いころの思い出の場所などを自分の足で歩き、しみじみと昔のことを思い返しては、その変わりに驚かされております。今では市街地周辺の開発も進み、これまで農地だったところに住宅が建ち並び、いたるところ道路は整備され、自由にショッピングが楽しめる大型マーケットもいくつつかできるとか、便利で文化的な街に発

展したことは郷土民の一人として誇りに思っております。でも、私が生活していた当時の大町付近は、夜遅くまでお店も開いていて、それなりに人通りもあったような気がしますが、今はお店を早く閉めてしまいうせいか街全体が暗く、人通りも少なく、わびしさを感じております。ところで、まもなく大館ふるさと会も満一歳の誕生日を迎えようとしておりますが、それに合わせて少しでもふるさとを思い起こしていただくために、十一月十二日の大館ふるさと会総会前日より、会場前で「朝市」を開催しようと考えております。役員一同張り切っております。私も、役員の一人としてお手伝いしておりますが、これからも郷土発展のため微力を傾けたいと思っております。

大館の方言講座

性格に関する言葉

- ◇アガツギ…あまえん坊
- ◇アサネコギ…朝寝坊者
- ◇アクタレ…乱暴者
- ◇エフリコギ…上品ぶった者
- ◇ジグナシ…意気地なし、臆病者
- ◇ヒチヨマガリ…ヘソ曲がり
- ◇ムデチケ…後先を考えないで行動する者、無鉄砲者
- ◇ユグダガレ・ヨグダガレ…強欲者
- ◇ヨツバリ・ヨバリコギ…つぎの日の仕事に差し支えるほどの夜ふかしをする者。または、常にそうである者

『大館市史』から

- 10月のテーマ関連図書コーナー
- 親子読み聞かせ会
- 中央図書館の休刊日

『実りの秋』
毎月第1金曜日14時30分
10月26日、11月3日

ペ)ほか

◇海賊モーガンの子どもたち(那須正幹) ◇大うずまきの秘密(森下研) ◇きょうも星パン(水谷章三) ◇ゆうれい恐竜たんじょう中(杉山径一) ◇ワニがうたえば雨がふる(岡田貴久子) ◇ウスリトトラを追って(福田哲郎) ◇エレベーターで4階へ(マリア・グリー

ペ)ほか

◇若き日の哀しみ(タニロ・キシユ) ◇イザベラ・バード旅の生涯(O・チェックランド) ほか



一般書
◇悲歌(赤川次郎) ◇スキップ(北村薫) ◇テロリストのパラソル(藤原伊織) ◇世にも不幸な男の物語(西村寿行) ◇白球残映(赤瀬川隼) ◇水脈(高樹のぶ子) ◇英国一〇一話(林信吾) ◇ひらがな日本美術史(橋本治) ◇人生のこみち(中野孝次) ◇森林の荒廃と文明の盛衰(安田喜憲) ◇気象情報の読み方・使い方(新田尚) ◇ケイヴマン(ジョージ・ドーズ・グリーン) ◇若き日の哀しみ(タニロ・キシユ) ◇イザベラ・バード旅の生涯(O・チェックランド) ほか

著者は、大戦中兵卒として南方のラバウルに赴き、土地の少年のトペトロと知り合った。交際は、トペトロが平成五年に亡くなるまで五十年続いた。イラスト、写真も一杯の心暖まるエッセイ。

『トペトロとの50年』

(水木しげる著 扶桑社)



私の本棚

中央図書館新着図書

